

第3回 種子島ツーリズムセミナー
2016/4/14 (木) 西之表市民会館

留学生モニターツアーから見える 種子島観光

西之表市 地域おこし協力隊(観光担当)
五十嵐悠

目次

1. モニターツアーの概要
 - 1) 留学生モニターツアーについて
 - 2) 観光メニュー
2. ツアー参加者の種子島観光に対する提言
 - 1) 種子島のアクセス(島内・島外)
 - 2) 種子島宇宙センター
 - 3) 食、特産品のプロモーション
 - 4) インバウンドのコンセプト
 - 5) 観光業を中心とした種子島産業の強化
3. モニターツアーから五十嵐が見た種子島観光
 - 1) 商品は Tanegashima Experience
 - 2) 種子島観光は“チャンス”に溢れている

1. モニターツアーの概要

1. モニターツアーの概要

1) 留学生モニターツアーについて

- 日本に住む海外留学生、研究員を対象に2回実施。
- 目的：海外観光客の視点から、海外留学生、研究員に種子島観光に関する提言をもらう。

第1回 モニターツアー

- 日程：2016/2/11 ～ 2/14 3泊4日
- 参加者：14名(9カ国)
- 提言方法：プレゼンテーション
(グループ)



東京大学、東北大学の留学生が中心

第2回 モニターツアー

- 日程：2016/3/10 ～ 3/13 3泊4日
- 参加者：13名(2カ国)
- 提言方法：レポート



鹿児島国際大学の留学生が参加

1. モニターツアーの概要

2) 観光メニュー

共通



火縄銃試射



月窓亭



鉄砲館



郷土料理体験



北部観光



千座の岩屋



宇宙センター



中割校区での
日本文化体験



西之表
市街地散策

第1回



黒糖づくり、さとうきび刈り



新光糖業&
バイオディーゼル施設見学

第2回



陶芸体験



民泊体験

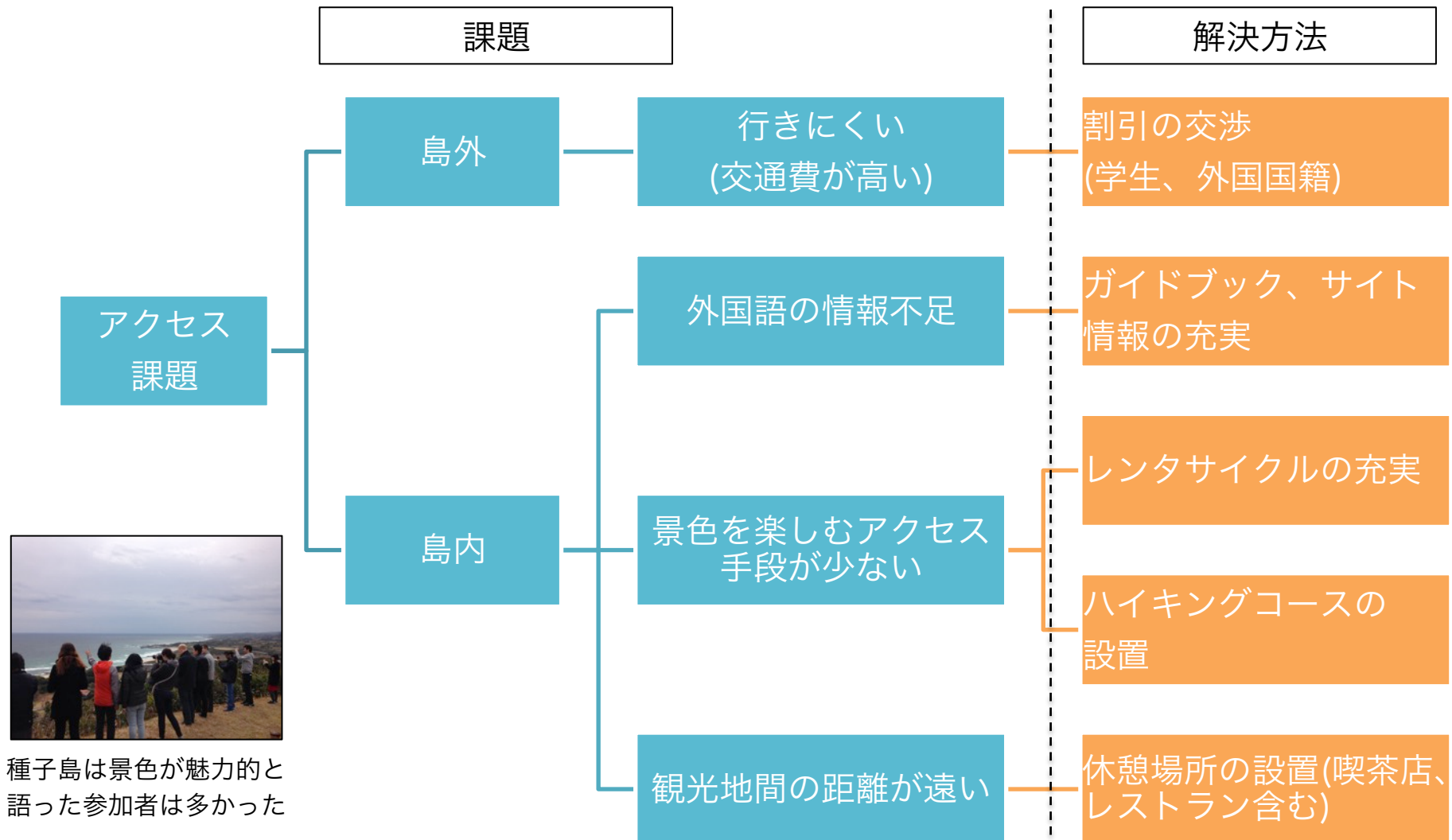
2. ツアー参加者の種子島観光に対する提言

2. ツアー参加者の種子島観光に対する提言

1) 種子島のアクセス(島内・島外)

課題：島外から行きにくい。島内では外国語の情報が不足、アクセス方法多様化などの問題がある。

→ 島外については、割引交渉。島内では、ガイドブックの充実やレンタサイクルを設ける。

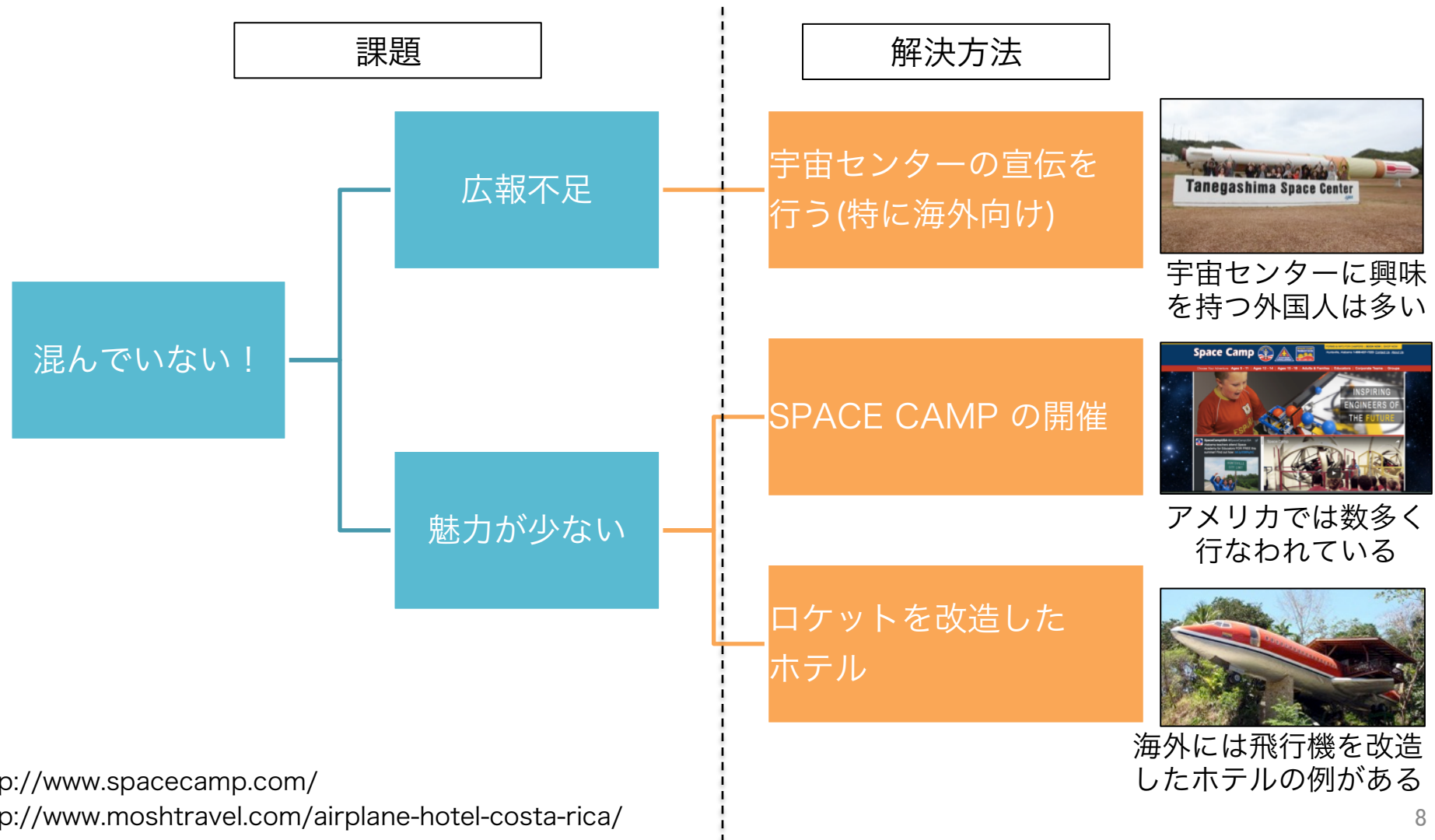


2. ツアー参加者の種子島観光に対する提言

2) 種子島宇宙センター

課題：種子島宇宙センターは、珍しいのに混んでいない！

→ 宇宙をテーマにした広報と様々な企画を行う。



<http://www.spacecamp.com/>

<http://www.moshtravel.com/airplane-hotel-costa-rica/>

2. ツアー参加者の種子島観光に対する提言

3) 食、特産品のプロモーション

課題：Web で体験メニューを含む食の情報が得られない。(日本語以外の言語はほぼ無い)

→ 飲食店の情報を見る、農業・漁業体験メニューの確認、予約が地図上からできるなど
種子島の食情報を網羅したインタラクティブグルメマップを作る。

インタラクティブグルメマップ



2. ツアー参加者の種子島観光に対する提言

4) インバウンドのコンセプト

課題：種子島は独自の歴史と文化が存在する。日本独自の歴史や文化に興味を持つ外国人は多い。しかし、外国人に有効な PR ができていない。

→ 「先端の技術が始まった場所」、「日本で一番外国人を迎える島」という PR をする。

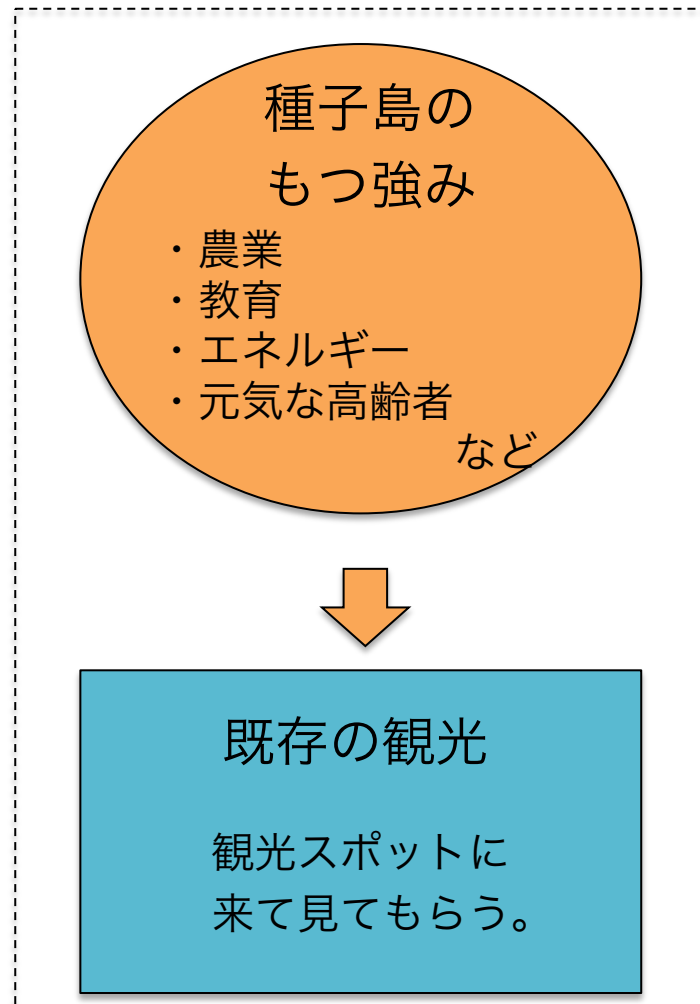


2. ツアー参加者の種子島観光に対する提言

5) 観光業を中心とした種子島産業の強化

課題：種子島全体が衰退している。

→ 観光に様々な要素を加えて、複雑に産業が連携された強い社会づくりを目指す。



(産業を連携した)新しい観光

- 教育関係の訪問を増やす
 - ワークショップ
 - 国際学術会議の開催（特に宇宙科学関係）
 - 長期的な教育施設の設置

- 既存の観光サービスの向上
 - ホームステイの促進、プロ化
 - 高齢者の再雇用

- 新しい外来者の誘い
 - 技術会社来島の奨励
 - 工場、発電所のツアー開発

例) 高齢者の再雇用

- ・働く意欲が高い高齢者を観光用の車の運転手あるいはガイドとして、雇用する。
- ・観光用の車は、ディーゼル車として、種子島産のバイオディーゼルを使う。

3. モニターツアーから五十嵐が見た種子島観光

3.モニターツアーから五十嵐が見た種子島観光 0) 伝えたいことは2つ

1. 種子島体験 (Tanegashima Experience) が求められている。
2. 種子島観光は“チャンス” に溢れている。

3. モニターツアーから五十嵐が見た種子島観光

1) 商品は Tanegashima Experience (1)

モニターツアーの感想



- ・ (次回来るとしたら)海でサーフィンやダイビングをしたい。
- ・ 東京、福岡、大阪、京都に行った事があるが自然風景があまりない。残念だった。でも種子島に自然風景が一番あり色んな体験もあり他のところよりも全然違う感じだった。
- ・ ローカルの人々との会話をとても楽しんだ。その地にあるものを会話通じて深く感じる事ができるから。
- ・ 伝統的な体験をさせてもらいとても楽しかった。
- ・ 種子島の文化・歴史と先端技術の融合に感動した。
- ・ 民泊が本当に楽しかった。一泊の中で色々なことをした。本当に自分の親みたいに温かかった。

今回のモニターツアー、1、2回目ともに満足度は高かった。

感想で共通して言えるのは、“種子島でしかできない体験”の満足度が非常に高かったということ、また次に来る時はより深い体験をしたいということだった。

“来て、見て、帰る”という観光はすでに時代遅れになった。

「種子島に来たという体験・物語」をいかに提供できるかが、観光の勝負になる。

観光地は、人々の心を動かさねばなりません。もっと楽しませる、興奮させる、嬉しくさせる、しみりさせる。泣かせる。なんでもいいのです。人の心を何で動かせるのか。能力ある人が各地でそれを真剣に考えつくっていけば、日本は本当の観光大国になれます。

3.モニターツアーから五十嵐が見た種子島観光 1) 商品は Tanegashima Experience (2)

第1回モニターツアー 満足度ランキング

1位 黒糖づくり・さとう
きび刈り体験(10人)



2位 浦田海水浴場(8人)



3位 中割校区での
日本文化体験(7人)



第2回モニターツアー 満足度ランキング

1位 宇宙センター(12人)



1位 浦田海水浴場(12人)



1位 民泊体験(12人)



(番外編)

五十嵐が種子島に来て
心が動いたランキング

1位 ロケット打ち上げ



2位 港の見送り(異動,転校)



3位 農作業のおやつ休憩



3. モニターツアーから五十嵐が見た種子島観光

2) 種子島観光は“チャンス”に溢れている(観光資源)

観光立国の4つの条件「自然」、「文化」、「食事」、「気候」
→ 種子島はすべて兼ね揃えている。

自然



- ・種子島でしか見れない美しい海、貴重な植物、珍しい地形がある。
- 第2回のモニターツアーの感想では、全員が自然の美しさに触れていた。

文化



- ・鉄砲とロケットは全国誰でも知っている。
- 上記以外にも、黒糖づくりなどの独自の伝統文化、またアニメに興味を持つ留学生も多かった。

食事



- ・安納芋に代表される農産物、海の幸も美味しい。
- 郷土料理体験、ホテル、民泊の料理の満足度もおむね高いと言えた。

気候



- ・平均気温が約19℃で温暖な気候
- 夏に海水浴、サーフィン、ダイビングにきたいという声が多かった。

【参考】デービッド・アトキンソン新・観光立国論 イギリス人アナリストが提言する21世紀の「所得倍增計画」/
デービッド・アトキンソン / 東洋経済新報社

3.モニターツアーから五十嵐が見た種子島観光

2) 種子島観光は“チャンス”に溢れている(波及効果)

観光産業が活性化することで様々な波及効果がある。

教育への投資

種子島の未来を
支える人材づくり



産業間の連携強化

複雑につながることで
強い社会が生まれる



伝統文化の継承

見せることは、知って
もらう機会になる



地域愛の醸成

PR は、地元を好きに
なることから始まる



雇用の創出

若い人で仕事があれば
島に戻りたい人は多い



高齢者の生きがいづくり

高齢化社会は不可避。
新しい社会づくりが必要



環境保全

美しい自然を守る
ためのお金を稼ぐ



移住促進

短期滞在(観光)が
移住のきっかけとなる

